

宮崎県

株式会社ポップミックス

2018年6月26日(火) 宮崎日日新聞 朝刊掲載

いつも笑顔で過ごせる会社であり続けたい

多様な働き方の一つとしてのテレワーク

13年前から在宅勤務を導入

2002年に創業し、初めて雇用した社員が重度の身体障害者で通勤できず、在宅勤務という形をとったのが13年前。現在は、従業員5人のうち2人がテレワークを利用しています。働く意欲があっても周辺環境が整わず働けない状況になったとき、テレワークを取り入れることで可能になる場合もあります。意欲や能力のある優秀な人材にストレスなく働き続けてもらうためにも、個人個人に合わせた働き方の一つがテレワークでした。



テレワークを導入する
株式会社ポップミックスの
山口和子社長

育児も介護も女性だけがするものではない

Web系のシステム開発とホームページ作成が主な業務です。数年かけて勤怠管理システムやデータ共有のためのシステムなども自社で開発し、どこにいても仕事ができるような体制を整えました。ネットワーク環境が整えば、時と場所を選ばないのがテレワークの良さ。弊社では育児や介護を機に女性が利用していますが、育児も介護も女性だけがするものではありません。誰もがいきいきと働きやすい環境を作るための一つの手段として、多くの企業に積極的に検討してもらいたいですね。

介護に協力できるようになりました

親と対面する時間が増えた

見守りが必要になった父親の介護を機に、1年前から週1回、3~8時間テレワークを利用しています。私が実家で一緒に過ごすことで、24時間365日、父を介護していた母親は自分の時間が持てるように。「そばにいてもらえるだけで安心」と感謝され、少しは負担を減らせていると思います。親と対面する時間も増え、自分の将来やライフスタイルを見つめなおすようにもなりました。



介護のために週1回テレワーク
を利用している社員

時と場所を選ばず、業務もはかどる

自分の働けるときに働くテレワークは自由度が高く、コミュニケーションも自分のタイミングなので業務がはかどります。家にいても、社会とつながっていることで、自分のアイデンティティも保てます。

不測の事態が起きたときは有休に切り替えられ、柔軟に対応してもらえる会社に感謝しています。仕事も介護も複数でシェアするこれからの時代、一人一人に合わせた働き方はすごく有効だと実感しています。